

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	胃癌 mFOLFOX6療法 (infuser pump)
疾患名	胃癌
診療科名	消化器内科
登録医師名	寺尾 正子

臨床区分
<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療
<input type="checkbox"/> 単施設自主研究
<input type="checkbox"/> 他施設自主研究
<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究
<input type="checkbox"/> 治験

抗癌剤適応分類
<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法
<input type="checkbox"/> 術後化学療法
<input type="checkbox"/> 術前化学療法
<input type="checkbox"/> 局所療法
<input type="checkbox"/> その他

登録日	2012年8月4日
1クール期間	14日
実施回数	/回

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	ナトリウム100単位/mL注射液	1	本	静注			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
3	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管	15min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	パロノセトロン静注用0.75mg デキサメタゾン注射液 6.6mg	1	瓶														
4	5%糖液	250	mL	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとオキサリプラチンは同時投与
	レボホリナート点滴静注用	200	mg/m2														
5	5%糖液	250	mL	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとオキサリプラチンは同時投与
	オキサリプラチン点滴静注用	85	mg/m2														
6	フルオロウラシル点滴静注	400	mg/m2	点滴静注	側管	全開で	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとオキサリプラチン終了後 15分以内で投与終了
	生理食塩液	50	mL														
7	フルオロウラシル点滴静注	2400	mg/m2	持続点滴	側管	46h	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	インフューザーポンプ 全量110mLに調製する。
	生理食塩液	50	mL														
8	ナトリウム100単位/mL注射液	1	本	静注			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9																	

備考欄
経口摂取不能もしくは高度腹水を伴う進行胃癌に推奨される

文献
胃癌治療ガイドライン および FOLFOX as First-line Therapy for Gastric Cancer with Severe Peritoneal Metastasis

減量・中止基準
【2コース以降の投与可能条件】
好中球数：1500/mm³以上
血小板数：75000/mm³以上
【減量基準】（前回の投与後に発現した有害事象により判断）

	最悪時	次回投与量
好中球数	500/mm ³ 未満	L-OHP： 65mg/m ² に減量 5-FU：20%減量
発熱性好中球減少	発現	
血小板数	50000/mm ³ 未満	
消化器系有害事象 (予防治療した上で発現)	Grade3以上	

5-FU：T-Bilが5.0mg/dL以上の場合は投与中止
参照：がん化学療法レジメンハンドブック改訂第7版 P446-447